



群馬県ホームヘルパー協議会 インフォメーション 令和8年4月号

■巻頭メッセージ

令和8年度は、「支え合う力を形にし、地域に根づかせる」を年間テーマに掲げ、在宅介護を担う人材の育成と、つながりの広がりに取り組んでまいります。本会としての役割を改めて見つめ直し、地域に必要とされる存在として、現場とともに歩みを進めてまいります。

本年度も、皆様と力を合わせ、着実に取り組みを積み重ねてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

県ホ協 会長 河合英基

■先月の活動報告

3月31日をもって、「つかいみちを選べる赤い羽根募金」活動が終了いたしました。

期間中は、多くの皆様より温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

今期は、これまでの取り組みに加え、初めて企業様からのご支援をいただくことができました。

株式会社まりんこ農園様、ならびに江口安美行政書士事務所様とのご縁は、いずれも現場の声をきっかけに生まれたものであり、本会の活動が新たなつながりへと広がっていることを実感しております。

このような一つひとつの出会いを大切に、次年度へと確実につなげていけるよう、引き続き丁寧に活動を重ねてまいります。

今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



9 団体がエントリーし、それぞれの想いを胸に募金活動に取り組みました。

【つながりを生む力】

本年度の募金活動において、

一人の担当者のひたむきな行動が、新たなつながりを生み出しました。

街頭募金の場での真摯な呼びかけに心を動かされ、

募金箱へのみならず、温かいご支援へとつながったご縁。

また、偶然その声を耳にしたことをきっかけに、

長く途絶えていたつながりが再び結ばれ、

対話を重ねる中で応援の輪が広がった出来事もありました。

そこには、

「必ず届けたい」「必ずつなげたい」という強い思いと、日々の地道な働きかけの積み重ねがありました。

組織の活動は、一人ひとりの行動によって支えられています。

そしてその行動は、やがて人の心を動かし、つながりとなって広がっていきます。

本会としても、こうした実践を大切に受け止め、

次の担い手へと確実につなげてまいります。

■今月の予定

No.	月 日	曜	開催時間	行 事	備 考
1	4月2日	木	9:30～	最終募金箱回収業務	渋川ルート第2段・事務局/小見担当者
2	4月2日	木	13:30～	県共同募金会配分式	8階大ホール・河合会長・小見会計出席
3	4月3日	金	10:00～	訪問介護まるわかりセミナー講師最終資料確認	石井副会長
4	4月3日	金	10:00～	募金担当者直納作業	渋川募金箱関係（小見/山口募金担当者）
5	4月3日	金	12:00～	募金担当者会議	募金担当者（小見/山口・事務局）
6	4月24日	金	12:00～	ランチミーティング（役員のみ）	ラシーネ前橋
7	4月24日	金	14:00～	役員会議	県社会福祉総合センター203B会議室

今月は会議・研修等の予定は限られておりますが、事業の進行に伴い随時対応してまいります。
 なお、状況により予定が追加・変更となる場合がございますので、最新の情報をご確認ください
 ますようお願いいたします。

※会員の皆様におかれましては、会費の納入につきましてご協力をお願いいたします。

本会の活動は、皆様のご理解とご支援により支えられています。

なお、納入に関するご案内は4月早々にお送りする予定ですので、4月中のご納入にご協力くださいますようお願い申し上げます。

■ お知らせ

【事務局勤務体制の変更について】

本会では、持続可能な組織運営の構築に向け、令和8年度より事務局の勤務体制を見直すことといたしました。新たな勤務体制は、週28時間のフレックスタイム制とし、火曜日を指定休としたうえで、水曜日から日曜日の間で業務を行います。

なお、研修や事業対応等により長時間の勤務となる場合は、振替休により調整することを基本といたします。

これまでの運用においては、業務の集中や時間外対応が常態化する中で、勤務時間の調整が十分に図れない状況もありましたが、今後は勤務の適正化と業務の見直しを進め、持続可能な運営体制の確立を目指してまいります。

会員の皆様におかれましては、本趣旨をご理解いただき、円滑な運営へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「学ぶ」コーナーについて

本年度より、インフォメーションに「学ぶ」のコーナーを設けました。

日々の業務の中で立ち止まり、物事の本質や在り方に目を向ける機会として、先人の言葉を通じた小さな学びをお届けしてまいります。

一つの言葉が、気づきや対話のきっかけとなり、それぞれの現場での実践へとつながっていくことを願っております。

■ 学ぶ

物有本末、事有終始。知所先後、則近道矣（大学）

（読み）

ものに本末（ほんまつ）があり、ことに終始（しゅうし）がある。

先後（せんご）を知れば、すなわち道に近し。

（ひとこと）

物事の順序と本質を見極めることが、正しい歩みにつながる。